

ENIGMA FirePlus type-V GSX-R125 (2BJ-DL33B) / GSX-S125 (2BJ-DL32B) の取り付け、接続方法

本マニュアルの対応機種 下記組み合わせ以外には対応しません。

対応 ENIGMA ENIGMA FirePlus type-V (FPV430/FPV430RTF)

対応車両 SUZUKI GSX-R125 (2BJ-DL33B) / GSX-S125 (2BJ-DL32B)

カプラーオンタイプをお使いの方へ

下記を説明文を参照にノーマルの ECU を車体側カプラーから取り外し、ENIGMA FirePlus type-V のカプラーと接続してください。ENIGMA FirePlus type-V 本体は過度な振動や雨水などがかからないよう、固定してください。(配線接続作業は一切ありません)
作業が終わりましたら使い方マニュアルをよく読んで正しくお使いください。

取り付け作業は安全な場所で正しく行って下さい。基本的なGSX-R125の整備知識が必要です。サービスマニュアルに従ってECUと配線が作業できるようにシートやカウルなどを取り外してください。ノーマル車両のリアシートを取り外すとシート下にECUがゴムで取り付けられています。

ECUに繋がっている36ピンカプラーに、配線を加工してEnigma FirePlus type-Vを割り込みさせて下さい。Enigma FirePlus type-Vは近くに水に濡れないよう取り付けてください。

バラ線タイプのENIGMA FirePlus type-Vの場合、カプラー側の配線にEnigma FirePlus type-V配線の多くを**割り込み接続します**。

(割り込み接続とはノーマルの配線を切断せずに分岐する様に接続する事です)

割り込み配線接続はエレクトロタップやギボシを使用しないで下さい。接続トラブルが多く

ENIGMA FirePlus Type-Vの動作に問題が起こります。(ハンダ付け等での作業で信頼性が向上します。)

- 基本的にENIGMA FirePlus type-Vから出ている配線色と接続する車両の配線色は同じか、もしくは近い色になっています。下記の図を良く見て正しく接続して下さい。ENIGMA FirePlus Type-Vから接続する配線は全部で17本です。

ムラサキ線はサービス出力線なのでECUには繋ぎません。

使用しないときは絶縁・防水処理をしてください。

白線はピットレーンリミッタスイッチ用なのでECUには繋ぎません。使用しないときは絶縁処理をしてください。

- ※ 2番端子は白/ピンク線ですが、Enigma FirePlus type-Vの白/赤線と接続してください。
- ※ ECUの7番端子(黒/青)へ接続されている線(水温)を切断して、Enigma FirePlus type-Vからの配線で、バイク車体側に黒/青線を接続、ECU側に黒/オレンジ線を接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。
- ※ ECUの12番端子(白/青)へ接続されている線(点火信号)を切断して、Enigma FirePlus type-Vからの配線で、バイク車体側にピンク/青線を接続、ECU側に白/青線を接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。
- ※ ECUの15番端子(ピンク)へ接続されている線(速度信号)を切断して、Enigma FirePlus type-Vからの配線で、バイク車体側にピンク線を接続、ECU側にピンク/白線を接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。
- ※ ECUの24番端子(黄/白)へ接続されている線(クーリングファン)を切断して、Enigma FirePlus type-Vからの配線で、バイク車体側に黄線を接続、ECU側に黄/黒線を接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。

- ※ 28番端子は深緑線ですが、Enigma FirePlus type-Vの緑／赤線と接続してください。
- ※ ECUの33番端子（緑／青）へ接続されている線（メーター）を切断して、Enigma FirePlus type-Vからの配線で、バイク車体側に青／緑線を接続、ECU側に灰／緑線を接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。
- ※ ECUの34番端子（緑／白）へ接続されている線（噴射信号）を切断して、Enigma FirePlus type-Vからの配線で、バイク車体側に緑／黒を接続、ECU側に黒線を接続して下さい。接続には極性がありますので下図で良く確かめて間違いの無い様に接続して下さい。
- ※ 本体に直接水がかからないようにしてください。また配線の根元からの水の入るのを防止するため、配線側を下にして設置してください。

下図を良く見て配線位置など間違わないように作業してください。
 マニュアルは3ページに分かれています。全て配線してください。

上段のみ記述

7 黒／青(水温)
 下図を良く見て切断します。
 ECU側にEnigma FirePlus type-Vの黒／オレンジを
 車体側にEnigma FirePlus type-Vの黒／青
 を接続します。

6 オレンジ／黒(電源)
 Enigma FirePlus type-Vの同色を割込接続します

8 黒／白(グラウンド)
 Enigma FirePlus type-Vの同色を割込接続します

2 白／ピンク(TPS)
 Enigma FirePlus type-Vの白／赤を
 割込接続します。

1 2 白／青(点火)
 下図を良く見て切断します。
 ECU側にEnigma FirePlus type-Vの白／青を
 車体側にEnigma FirePlus type-Vのピンク／青を接
 続します。

ピンク／青
 (点火車体側)

白／青
 (点火ECU側)

車体側白／青を切
 断します

車体側の黒／青線
 を切断します

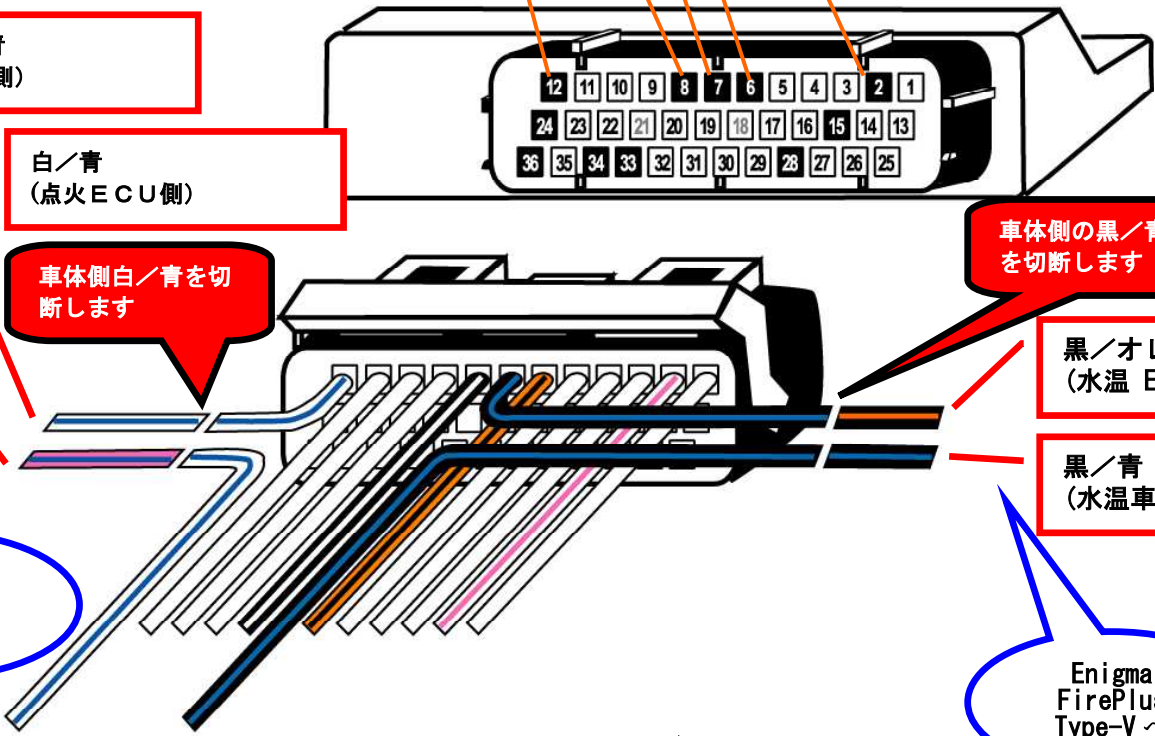
黒／オレンジ
 (水温 ECU側)

黒／青
 (水温車体側)

Enigma
 FirePlus
 type-Vへ

Enigma
 FirePlus
 Type-Vへ

だいたいの配線配置は
 カラー表示しています。



中段のみ記述

24 黄/白 (クーリングファン)
 下図をよく見て切断します。
 ECU側に Enigma FirePlus type-Vの黄色を
 車体側に Enigma FirePlus type-Vの黄/黒を
 接続します。

15 ピンク (速度)
 下図をよく見て切断します
 ECU側に Enigma FirePlus type-Vのピンク/白を
 車体側に Enigma FirePlus type-Vのピンクを
 接続します。

黄
 (ファン車体側)

黄/黒
 (ファンECU側)

車体側黄/白線を
 切断します

車体側のピンク線
 を切断します

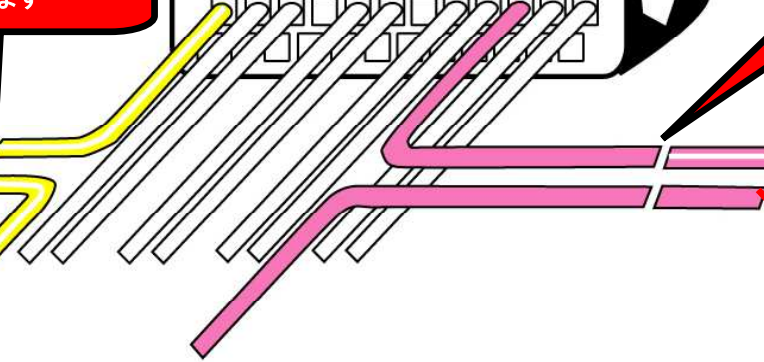
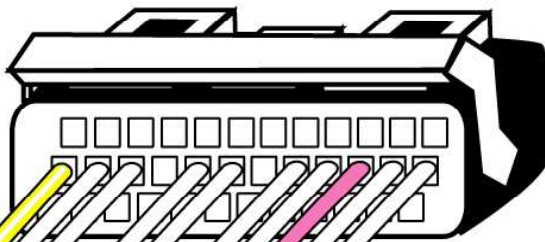
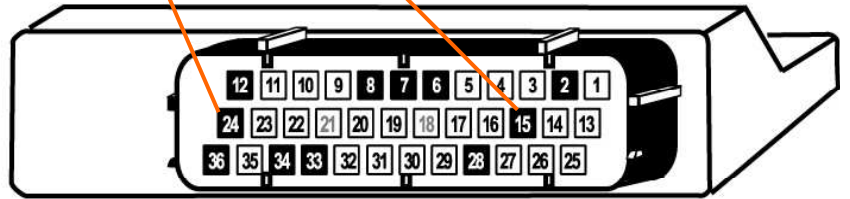
ピンク/白
 (速度 ECU側)

ピンク
 (速度車体側)

Enigma
 FirePlus
 type-Vへ

Enigma
 FirePlus
 type-Vへ

だいたいの配線配置は
 カラー表示しています。



下段のみ記述

34 緑／白(噴射信号)
下図を良く見て切断します。
ECU側にEnigma FirePlus type-Vの黒を
車体側にEnigma FirePlus type-Vの緑／黒
を接続します。

36 黒／白(グランド)
Enigma FirePlus type-Vの同色を割込接続し
ます。

33 緑／青(メーター)
下図を良く見て切断します。
ECU側にEnigma FirePlus type-Vの灰色／緑を
車体側にEnigma FirePlus type-Vの青／緑を
接続します。

28 深緑(クランクポジションセンサー)
Enigma FirePlus type-Vの緑／赤を接続し
ます。

緑／黒
(噴射信号車体側)

黒
(噴射信号ECU側)

車体側緑／白線
を切断します

Enigma
FirePlus
type-Vへ

青／緑
(メーター車体側)

灰／緑
(メーターECU側)

車体側の緑／青線
を切断します

だいたいの配線配置は
カラー表示しています。

- ECU端子で繋ぐのは、2、6、7、8、12、15、24、28、33、34、36の11箇所です。
上図でよくご確認下さい
- ENIGMA FirePlus type-V から出ている「白線」はピットインリミッター用の配線です！使用しない時は先端が金属部分に当たってショートしないようにテープで絶縁して下さい。
使用方法はこのマニュアル最後にあるピットインリミッタースイッチの設置を参照ください。
- ムラサキ線はサービス出力線です。ENIGMA FirePlus type-Vはクランク1回転に1回、5Vを出力します。
市販の殆どのデジタルタコメーターなどに対応します。この線に繋がれば正確な値が表示される等色々な事に
応用出来ます。必要が無い時はテーピングしてショートしないようにして下さい。
- 配線接続が終わってもリミッターは解除されていません。パソコンもしくはスマホでENIGMA FirePlus type-V
操作ソフトと通信すると簡単に設定が出来て解除出来ます。
- PC用ソフトは機種専用ENIGMA FirePlus type-V GSX-R125(DL33B)/S125(DL32B)用ソフトをお使いください。
他のバイク用ソフトはご利用になれません。

- iOS用アプリ、AndroidアプリはENIGMA FirePlus type-V専用アプリをお使いください。ENIGMA FirePlus type-V専用アプリは、アプリ内でGSX-R125(DL33B)/S125(DL32B)専用アドインデータを購入することによりGSX-R125(DL33B)/S125(DL32B)用ENIGMA FirePlus type-Vで使用することができます。他のバイク専用のアドインデータやFirePlus type-V以外のアプリは使用できません。
- FirePlus専用のソフト(アプリ)にはEASYモードとPROモードの2種類あります。PROモードは点火マップがご自身で作成できないと、エンジンがかからなかったり、回転が上がらなかったり、最悪エンジンを壊してしまうことがあります。FirePlusが初めての方はノーマルECUの点火時期を進角/遅角できる、EASYモードをお使いください。
- PC用ソフトやマニュアルは下記当社ホームページより無料にてダウンロードできます。iOS用アプリ、Androidアプリは下記当社ホームページから販売サイトへのリンクがあります。
<http://www.dilts-japan.com/download.html>

ピットインリミッタースイッチの設置

ENIGMAから出ている「白線」はピットインリミッタースイッチ設置の為の配線です。
ピットインリミッターは外部スイッチONの時だけ速度を制御するためエンジン回転を一定の回転に制御します。この機能を使用したい方は以下の作業を行って下さい。

一般に市販されているお好みのスイッチを購入して、使いやすい位置に設置して下さい。

(ハンドルに取り付ける場合は運転の妨げにならない操作しやすい場所に設置します)

スイッチは「ON」で通電／OFFで遮断する一般的な仕組みの物です。

押している時だけONになる物は適しません。ご注意下さい。

設置が終わったら ENIGMA FirePlus type-V の白線を繋ぎます。通常はスイッチには2つの端子が有りますので片方に白線を接続。もう片方は確実に「ボディーアース」出来る場所に繋ぎます。

※もっとも確実なのはバッテリーマイナスに繋ぐ事です。間違ってもプラスに繋ぐと回路が焼け落ち使用不能になります。絶対に行わないで下さい。

以上の作業でピットインリミッタースイッチの設置は終了です。

- **ピットインリミッター用の配線を使用しない時は先端が金属部分に当たってショートしないようにテープで絶縁して下さい。**